

自己評価報告書

平成23年 3月31日現在

機関番号：12602

研究種目：基盤研究（A）

研究期間：2008～2012

課題番号：20249086

研究課題名（和文） 高齢者訪問看護質指標を用いたインターネット訪問看護支援システムの有効性検討

研究課題名（英文） Evaluating the Internet System to Assist Homecare Nurses for Older Adults through Quality Indicators

山本 則子（YAMAMOTO-MITANI NORIKO）

東京医科歯科大学・大学院保健衛生学研究科・教授

研究者番号：90280924

研究分野：医歯薬学

科研費の分科・細目：地域・老年看護学

キーワード：質評価 訪問看護 高齢者 情報工学

1. 研究計画の概要

訪問看護の質保証のための簡便で有効な支援システムの構築が必要という認識に基づき、本研究は、我々がこれまで開発してきた「高齢者訪問看護質指標」の効果を測定し、有効性を確認すること、インターネットのウェブサイトを用いた高齢者訪問看護の支援システムを確立すること、を目的として調査を実施する。質指標を用いた看護師による実践の自己評価と、学習を助けるためのウェブサイトによる情報提供を行うことを介入とする。領域別にプロセス評価・アウトカム評価の指標を決定し、看護記録レビュー及び家族への質問紙調査等により効果を測定する。

2. 研究の進捗状況

高齢者訪問看護質指標計16領域からこれまでに10領域について介入調査を実施または開始した。過去に参加したステーションからの意見をもとに、ウェブサイトのデザインおよび内容を改善してきている。

3. 現在までの達成度

質指標のウェブサイトは新領域を加え完成しつつあるが、サイトへの書き込みが進まず、今後一層のデザイン上の工夫が必要である。

4. 今後の研究の推進方策

調査対象を訪問看護ステーション単位から個人単位に切り替え、調査参加への関を下げる。

IT 利用に関するステーション調査を実施する。

領域に関する情報収集サイトとしての利用可能性を高めるようサイトに情報を追加する。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者に

は下線）

〔雑誌論文〕(計5件)

1. Yamamoto-Mitani N, Katakura N, Fujita J, Shinohara Y, Sonoda Y, Ishigaki K. Preliminary evaluation of pressure ulcer care by home healthcare nurses using chart review. *International J of Older People Nursing* in press.

2. Hirano Y, et al., (Yamamoto-Mitani N, corresponding author): Home care nurses' provision of end-of-life support to families of the elderly. *Qualitative Health Research* 21(2):199-213, 2010.

3. 山田律子, 山本則子, 石垣和子. 訪問看護における高齢者の栄養管理質指標の開発と実用性の検討. *北海道医療大学紀要* 16:51-59, 2010.

4. 山本則子, 藤田淳子, 篠原裕子, 園田芳美, 石垣和子. 高齢者訪問看護質指標(家族支援)の開発: 訪問看護師の自己評価からの検討. *訪問看護と介護* 14(4):310-316, 2009.

5. 山本則子, 片倉直子, 藤田淳子, 篠原裕子, 園田芳美, 石垣和子. 高齢者訪問看護質指標(家族支援)の開発: 看護記録を用いた訪問看護実践評価の試み. *家族看護学研究* 14(3):30-40, 2009.

〔学会発表〕(計1件)

Developing and field testing a web-based educational program for homecare nursing for older adults. Gerontological Society of America Annual Meeting.

〔図書〕(計0件)

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

取得状況(計0件)